



8月！ろにゃんもポーポキも夏が大好きです！でも、今年の夏はどこもが変なお天気！気になりますね。安全な場所なら、ろにゃんとポーポキの夏の一番楽しいことは水泳！あなたの夏の楽しいことはなんでしょう？

Popoki's Hot News!

NEW



ロニー・アレキサンダー編著

『ポーポキのマスクギャラリー ～コロナ禍でアートを通して日常の安心を探る～』神戸大学出版会 2022.2.22 発行

灘チャレンジ！

灘チャレンジが戻ってきました。

詳細については 13 ページをご参照。



「一言の平和」コーナー

ポーポキのお友だちるいーすにゃんは、8月6日の広島の日、次の「一言の平和」を送ってくれました。「どうかこの日のすべての苦しみがまもなく癒され、ご逝去された方々の光が忘れずにいる人々のためのよりよい時代の希望を照らしますように。」

あなたは今日、どんな「平和」に出会いましたか？ぜひお聞かせください。

ポーポキのメール [ronniandpopoki \(at\) gmail.com](mailto:ronniandpopoki(at)gmail.com) !



Popoki's Video Gallery

ポーポキの動画をぜひみてください！

ポーポキのマスクギャラリ～新型コロナウイルス感染拡大を生きる
<https://www.youtube.com/watch?v=BjT1ZjVUsm8&t=3s>

ポーポキのおうち
<https://www.youtube.com/watch?v=l8OCzg64oH8>

ポーポキと一緒に平和のパクパクをつくりましょう！
<https://youtu.be/FoT4pCWWRnQ>

ポーポキのピースマップ
<https://youtu.be/4t4PFV-dRBg>

ロニー・アレキサンダーの最終講義（ポーポキではないが、お許しください）
「大きな夢と小さな島々～30年間でふりかえって、そして明日へ」
<https://youtu.be/trbxJSP7-CY>

日本平和学会 関西地区研究会主催 <ウクライナ戦争への視座 平和学から考える> 「私たちが見ていないもの、そしてモヤモヤ感」
語り手 安齋郁郎、ロニー・アレキサンダー
聞き手 奥本京子、遠藤あかり
<https://www.psj.org/chiku-kansai/> からユーチューブへ

英語だけど、ESPN
のミニシリーズ
'Title IX'も観て！ろ
にゃんは第2部に
登場！



平和の話

さとにゃん



8月5日(金曜日)午前中に、ポーポキはろにゃん、ほにゃん、さとにゃんと一緒にまた、アスパークの子供リビングに行きました。

いきなり質問!「8月6日は何の日か知ってる?」とろにゃんが聞きました。「誰かの誕生日?」みんな「知らない」といいます。「今から70年以上前の話だから知らないかなあ」というと、みんな首をかしげます。「みんなは生まれていた?」「お父さんやお母さんは生まれていた?」「それじゃあ、おじいさんやおばあさんは?」きっと、おじいさんや

おばあさんは生まれていたと思うとみんな言います。そして、そのころにあったとっても大変なことと言ってはじめて「原爆だ!」と一人の子どもが言います。「どこに落ちたかな?」「ええええつつつと、広島?」それじゃあその3日後には?という、長崎にも原爆が落ちたことを少し大きな声で言ってくれました。8月は原爆が投下されたし、戦争が終わったので、戦争や平和についての色々な話があります。ポーポキは、8月だけではなく、いつも平和を考えます。原爆や戦争を考える大きな平和ではなく、今日は、ポーポキと一緒に小さなもっと身近な平和と一緒に考えましょう。

次のプログラムは『ポーポキのお家』という、ろにゃんが描いた物語を一緒に読みます。さあ、誰が訪ねてきたかなあ。みんな一生懸命考えます。誰が何を持ってきたかなあ?どの忘れ物が誰の忘れ物かなあ?一緒に楽しく考えました。その後で「来てほしくない子はいる?」と聞くと、「いない」「誰が来てもいいやん」と言います。「それじゃあ、来たくない子を無理やり連れてくる?」「来たくないんだったら来なくていいやん」「理由はあるでしょう」。でもそれじゃあその子は一人ぼっちになるかもしれないよ?「きっと、他の友だちがいるし、一緒に居てもいいし」。アスパークの子どもたちはとても柔軟でやさしいです。

では、自分にとって安心できる場所やモノ、平和をお絵描きするタイム!みんな一生懸命たくさんのもを書いてくれました。自分が好きなものだけでなく、自然のことや絵を描ける平和、食べ物を食べられる平和、動物と触れ合える平和、友だちと話せる平和、スポーツができる平和、学校に行けたり勉強ができる平和。たくさんの方の平和について、考えてくれました。

みんな、今日はありがとう!ポーポキはまた遊びに来てもいいかなあ。

勿論!!とみんなが声を揃えてくれました。





サマー・ピース・イベント～核について考える

ろにゃん

今年の8月9日は、原爆が投下された77年となります。77年間の「ノーモア・ナガサキ」の積み重ねを思うとすごい数です。なぜ、核兵器がまだなくならないのでしょうか？

今年、ポーポキの「核を考える」集会の企画は、ささにゃん、やらにゃん、やこにゃんが担当しました。まず、「ポーポキのピースマシンの旅：ヒロシマ・ナガサキ編」(岩波書店)と”Every Nuclear Bomb Explosion in History”(Business Insider)という二つの動画を選びました。また、開催のパートナー、Remembering Hiroshima, Imagining Peace (RHIP)からの提案で、三つ目の動画、「油にそそがれた」(ダン・リンとキャシー・ジェットニル・キジナー作)をプログラムに加えました。また、議論を重ねに重ねて、動画を観賞する前の導入として、原爆投下の背景やそれにかかわる日本国内外の異なる視点を表すプレゼンテーションを作成しました。(そのプレゼンテーションのスライドは7ページからご覧できます。)その最後に、ディスカッションクエスチョンとして、「原爆はなぜ投下されたか」、「一般市民がたくさんいるところになぜ投下されたか」、「今、核戦争のどのような脅威があるか」という問いかけでした。このプログラム案をRHIPのみなさんと共有し、調整を行いました。そして、そこで新しい参加者として、アメリカのピッツバーグにあるテュケイン大学からも参加がありました。さらに、今年もグアムから参加がありました。

イベントの当日は日本時間で午前8時にはじまりました。アメリカ、グアム、日本、メキシコから26人も集まりました。やらにゃんの司会に誘導され、RHIPのジョさんとポーポキ・ピース・プロジェクトのろにゃんのあいさつ、原爆で犠牲になった人を追悼するための黙とうの後、プレゼンテーションがありました。その後は動画の観賞。オンラインだから、遠く離れても一緒動画をみることができました。その後は、5つのルームに分かれて、議論を通して理解を深めてから、また戻って話の内容を共有しました。

グループでの議論は30分と短い時間でした。話し合った内容は多岐にわたるものです。例えば、原爆や核実験のみならず、ウラン生産、核廃棄物の投棄、核拡散防止条約にもかかわらず核兵器のさらなる開発といった、核にかかわる話がありました。また、原爆の使用をはじめ、戦争はなぜ起こすか、その非人道的な側面はどのように正当化されているか、その正当化について、私たちはどう考えるか、というような内容がありました。三つ目にテーマとして、今のような戦争や核問題に対して、私たちにはなにができるか、ウクライナでの戦争は、ロシアの核兵器の使用だけではなくて、原発が攻撃されるかもしれません。それを止めるには、私たちはどうしたら良いかなど、今日の核による脅威と私たちにできるアクションが話されました。これだという回答はありませんが、みんなが考え、「真実」を疑え、行動をするという結論になると思います。

最後にベヴァクアさんからグアムからの視点を話してもらいました。アメリカの領土であ

るグアムは、東アジア戦略のきわめて大切な場所です。小さな島の約 30%はアメリカの軍事施設に使われており、沖縄から海兵隊員がグアムに行くために新しい施設が作られています。基地そのものも問題ですが、建設するために昔のチャモロの村を掘り起こしていることは大きな問題です。また、映画のことに関連つけて、グアムも核実験の影響を受けたことを話しました。また、軍事化の話をしてくれました。アメリカのような帝国は、だれも知らない、だれもみようとしない地域を必要としています。アメリカのアジアの基地がみんな、住民反対のためになくなって、グアムは残ります。私たちは、普段はグアムのことを考えていないのかもしれないが、今後は核戦略の中でグアムのような島の重要性を意識しなければならない、と思いました。

最後にろにゃんが簡単にしめましたが、実はやらにゃんはそこで話をする予定でした。彼女は、人生経験や知識が豊かな人は、若い人たちに常に話、このような大切な問題を考えるように思い出させてもらいたい、と。

今年もとても有意義な時間を過ごすことができました。

みなさん、ありがとうございました。





みなさん、今回はご参加ありがとうございます。
今日のテーマに引き続き、このプレゼンテーションでは、覚えておいていただきたい特定の事項に触れます。
スライド下部の数字は2021年現在の被害者数で、毎年記念日に更新されます。
この数字は、今日に至るまで悲劇の事件で苦しんでいる人々がいること、そしてそのような恐ろしい出来事のなかで生きた経験を私たちに教えてくれる人々がますます少なくなっていることを示しています。

328,929人【2021年8月6日現在】（リスト数：121件（うち「名前不明が多い」1件を含む））
2021年8月6日、追加4800人。



広島は人口は約34万5千人で、交通の要所でした。写真からもわかるように賑やかな街でした。しかしそれだけではありませんでした。政治経済の中心地であり、多くの高等教育機関があり、日本で最も有名な軍事都市の1つでした。戦争はそれを変えました。民間人の生活は困難になり、多くの市民が戦場や軍需工場に動員されました。1945年7月までに、ヨーロッパでの戦争は終了しましたが、太平洋戦争はまだ激しさを増しておりました。ナチス・ドイツでの使用を意図して新たに作成された爆弾は、新たに日本が標的となりました。原爆投下の標的は、広島、小倉、横浜、京都、新潟でした。1945年7月26日、ポツダム宣言が放送され、降伏を拒否した場合、日本に「迅速かつ完全な破壊」という最後通告が与えられました。ルメイのピラをアメリカのパイロットが投下し、その後の空襲と都市からの避難を市民に警告しました。これらのピラは原子爆弾について言及しておらず、また、日本で「外国のプロパガンダ」に関与することは違法であったため、ほとんど無視されていました。

写真1: 戦前の広島の活気に満ちた繁華街の商店街の、町の中心に近い、東向きの写真。被爆前とそれに伴う火災の後、がれきと数本の電柱だけが残りました。
写真2: 戦前の広島の寺町寺町を北東に望む。この地区は完全に破壊さ



1945年8月6日の午前8時15分に、エノラ・ゲイのアメリカ人のパイロットは原子爆弾（リトル・ボーイ）を投下しました。飛行機に搭載しているアメリカ人パイロットは45秒を数えていました。爆弾は、43秒間落下した後、都市の550メートル上空で爆発しました。地上では、人々がピカッと、ととても明るい閃光をみて、ドンと大きな音をききました。爆心地から1.2キロ以内の人のほぼ半数が亡くなり、2キロ以内のほぼすべての建物が破壊されました。船で逃げた人も、火傷した人、爆風で吹き飛ばされた人、多くの人が負傷しました。放射線による急性障害が一応おさまった1945年12月までには、約14万人が亡くなれたと推計しています。しかし、私たちが知っているように、それは最終的な死者数ではありません...

写真1: エノラ・ゲイ（米軍のB29の偽名）は、広島に原子爆弾（リトル・ボーイ）を投下しました。ポール・ティバッツ（写真中央）と8人の航空隊の乗組員が見えます。
写真2: 広島上空の原爆きのこ雲。
写真3: 1945年8月5日に掲示された広島原爆投下命令。
写真4: 原爆投下前と後の広島。
写真5: 衣類と投していた皮膚の部分に着ていた靴の模様が焼き付いてしまった生存者。



日本軍が原子爆弾の影響に対処するため、さらなる爆弾配達計画が進行中でした。ですが、日本は降伏したため、西側は戦争終結を祝いました。

爆撃についての報道になると、米軍は破壊の証拠写真を押収し、米国政府は原爆後の影響について隠すことができました。また、爆撃に関するすべてのビデオと情報を隠蔽し、広島と長崎の人々を沈黙させました。

現在、核兵器の知識と原料を独占している米国は、強さの誇示と道徳観が対立しています。冷戦は核兵器の覇権、相互検証破壊の理論をもたらしています。

写真1: 1945年8月15日、第二次世界大戦での日本の降伏後、「JAPS QUIT」という見出しの付いた新聞を微笑みながら掲さず、55カサブランカの部隊にいる米軍人。

写真2: 3番目の爆弾に関するグローブスからマーシャルへの真意。3番目の爆弾は大統領の明示的な指示なしに使用してはならないというマーシャルの手書きの警告を含む。



そんな中、日本では広島への原爆投下に続き、3日後の9日には長崎への原爆投下。15日には、天皇は日本の降伏を放送します。それを止めようとするクーデターもありましたが失敗に終わりました。そして、9月2日、米艦ミズーリーにおいて、日本の降伏文書への調印が行われます。広島での生活は続きます...

広島路面電車（被爆電車）が原爆投下からわずか9日後に、一部区間で運転を再開しました。それは広島復興を支え、現在も走り続けています。

原爆の影響を受けた人々の死はまだ起こっています。それは被爆者です。爆弾は彼らに放射能の影響を与えただけではなく、彼らにゆっくりと痛々しく死に至らしめました。また、水と空気を汚染しました。(黒い雨、続けるような痛み)。奇跡的に生き延びた人々は、知らぬうちにがんや侵され亡くなっています。痛みはそれだけではなく、家族を持つ生き残った人々も、生殖の問題や、先天的欠陥の子供の出産に苦しんでおります。伝染の恐れがあるだろうと被爆者差別もあります。。。これは無知と恐怖から起こっています。

写真1: 日本の降伏と第二次世界大戦の終結を命じる日本の昭和天皇からの詔書。1945年8月14日に作成され、8月15日に発表されました。

写真2: 1945年9月2日、リチャードK. サザーランド中将が見守る中、戦艦ミズーリー上で日本の降伏文書に署名する重光 葵外務大臣。

写真3: 原爆前と後の長崎

**でも原爆投下は...
...本当に悪いことだった?**

レスリー・グローブスは「広島、長崎の原子爆弾によって第二次世界大戦は終わりました。それは間違いないありません。原子爆弾は恐ろしい規模で死と破壊をもたらしましたが、一方で、アメリカ国民、イギリス国民、日本国民のさらなる大きな損失を回避しました」と述べました。

...そして日本の戦争犯罪は?



原爆投下は必要だったのだろうか?

レスリー・グローブスさんはそう信じていたかもしれませんが、77年後、何世代にもわたって、人々はまだ苦しんでいます。日本人はどのような損失を回避しましたか?

しかし、日本軍による残虐行為を無視することはできません。残虐行為を思い出し、苦しんでいる人々が今も生きています。これは核兵器の使用を正当化するのに十分でしょうか?

写真1: クレメント・アトリー、アーネスト・ベビン、ヴァチエスタフ・ミハイロヴィッチ・モロトフ、ジョセフ・スターリン (白いユニフォーム)、ウィリアム・ロ・リーヒー、ジョセフ・E・デビス、ジェームズ・F・バーンズ、ハリー・S・トルーマン (右) を含むポツダム会議セッション。

写真2: 南京大虐殺の際、南京の西門の外、秦淮河沿いの犠牲者の遺体

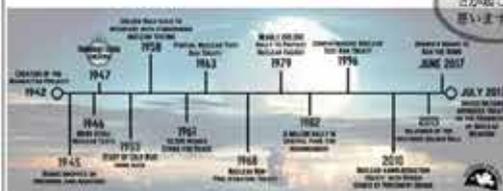
写真3: 日本軍によって生き埋めにされた中国人市民。

写真4: 天津近郊で死亡した中国人捕虜に対する日本の統制の練習。

ディスカッション・クエスチョン

1. アメリカはなぜ原子爆弾を日本に投下したのでしょうか?
2. なぜ一般市民がたくさんいるところに投下したのか?
3. 今現在、世界を巻き込む大戦が起こる可能性はどれくらいあると思いますか? それを避けるために、私たちはどうすれば良いのでしょうか?
4. いろいろかんがえてみませんか?

核兵器のタイムライン



次はどんなことが起こると
思いますか?



今日までにどんなことがあったかを理解することはいつも大切です。つぎはどんなことがおこるでしょうか?

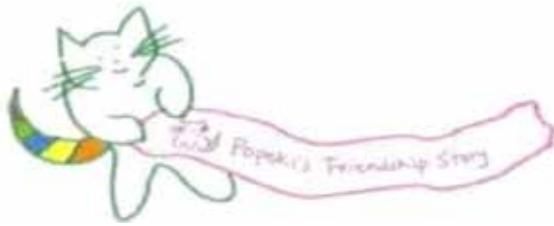


原稿に次のメッセージを挿入します。

2022 年現在、真夜中（入夜減光）まであと 100 秒です。

平和のために戦うことは極めて重要であり、歴史が二度と繰り返されないように、大量破壊兵器の根絶を今すぐ行う必要があります。

ご静聴ありがとうございました。



Popoki's Interview

やこにゃん

*最近、いろいろな場所でパンデミックを体験しているポーポキの友だちに状況を聞くことにしています。今回は、

前回に続いて、やこにゃんがチェコのペットの状況について聞いてくれました。

聞き手：やこにゃん/語り手：ルチエニャン

こんにちは。ルチエニャンのインタビューの後半になります（前半は2022年7月の『ポーポキ通信』203号に掲載しています）。よろしくお願いします。

質問4) 日本のペットの動物たちの状況についてどのように思いますか？

家で飼われているペットに関して、私が日本で驚いたいくつかのことがあります。まず、こちらではペットを飼っている人がずっと少ないようです。チェコではペットはとても一般的で、たとえ小さなアパートに住んでいたとしても、ほとんどすべての家族が一匹の犬もしくは少なくとも一匹の猫を飼っています。子どもたちもまたよくモルモットなどの小さな動物を彼ら自身のペットとして飼っています。ちょっと町を歩き回ると、日本の人々はほとんど、多くのペットを飼うことはないということに気づきます。次に、私は違う品種に対する好みに気づきました。日本の人々はプードルやビション(また時には柴犬、チェコではめったにみかけないのですが☺)のようなより小さな犬を好むようです。猫もまた日本では少し異なります。長毛種がより一般的なようです。実に、猫に関して、私はさらに一つのこと気づきました。街で時折出会う猫はたいがいあまり近寄らないのです。チェコでは、私はよく街で猫(実際にノラ猫だったりイエ猫がお出かけ中だったりするのですが)に会ったものですが、ほとんどいつも人々はペットをかわいがり、猫は喜んでごちそうをもらおうとします。日本では猫はたいがい知らない人をかなり警戒しているようです。

ペットのシェルターについては、私は日本にいる間にたった一度そこを訪問しました。ですが、全般的に、特に目立った違いは見つかりませんでした。シェルターによく来るのがどんな動物か、また新しい家庭を見つけるのが最も難しい、または最も簡単なのはどんな動物かということになると、違いがありました。チェコでは、ほとんどどんな種類でも犬はかなり簡単に次の家庭を見つけられるのに対して、猫はしばしば長い間待たなければなりません。日本では、それは逆のようです。しかし、シェルターの構造と目指すところはほとんど一緒でした！

質問5) ペットの動物たちと平和な人間のコミュニティとの関係についてあなたはどのように思いますか？

私たちが平和な人間の社会とペットの幸福の関係について話していたとき、私は今年起きた

とても印象的だったできごとを思い出しました。ウクライナ侵攻後、多くの人々が彼らの家から逃げなければならなくなり、ポーランドやスロバキアやまたチェコに移動しました。彼らの多くはたくさんの荷物を運ぶことはできませんでしたが、しばしば彼らはペットと離れるのを拒み、ペットと共に避難しました。私たちの団体はできる限りの場所でこれらの人々と彼らのペットの動物たちを助けるために尽力している団体の一つです。国境ではよく権利の問題が起きます。というのも、ヨーロッパ連合は入国するペットに特定の病気に対してワクチンを接種していることを求めるのです。しかしながら、たとえ動物たちがワクチン接種を受けていたとしても、本当に大急ぎで家から逃げてきたので、人々がワクチンの接種証明書を持っていないことがよくあります。最初は状況はかなり混乱していましたが、比較的すぐ国境に獣医師の拠点ができ、国境においてすぐにワクチン接種をペットにしました。しかし、たとえ彼らが国境を越えることに成功しても、もちろんペットへのケアの問題がありました。人々が寄付した食べ物や寝床やその他の必需品を配達する多くのチャリティ団体がありました。

最良の環境にいてその人のペットと共に移動することはストレスの多いことに違いありませんが、戦地から一人で逃げることもあります。家を失いしばしば自分たちの愛する人々もまた失って、しかしながら、多くの人々は彼らのペットの仲間を同様に失うことを拒みました。ペットは彼らの錨(頼みの綱)であり、家を思い出させるものであり、ときには彼らを前に進ませ続けるものでさえあるのです。このようなときに愛するペットの動物たちが人々にとってどれほど大切なのかを私たちが認識することが重要だと、私は思います。

私はまたウクライナ侵攻前にもときどき協力していた、あるウクライナのシェルターのことを思い出しました。それは100匹以上の犬の世話をする大きなシェルターです。シェルターの管理者は、全ての動物たちが移動するのは不可能なので、シェルターを離れるのを拒否しました。彼女は犬たちを見捨てることを拒みました。はじめの頃、私たちは彼女のシェルターになんとかして数十トンのドッグフードを運びましたが、以後はウクライナから遠くにいてできなくなりました。彼女はまだ活動を続けていて、私たちEメールでやりとりをしており、彼女の場所で人々が物資を分け合うのを手伝っています。



ポーポキちゃんの簡単ポガ教室

Lesson 172 今月のテーマは、泳ぐ準備！



1. まず、いつものように、美しく座りましょう。
2. では、腕を横へ広げて、腕を回しましょう。最初は小さく、それからだんだん大きくなって、最後は一番な丸を描いてから、今度はだんだん小さく描きましょう！できたら、反対方向もやってみてね。
3. 次は、手を前へ回します。前へまわし終わったら、反対方向ね。
4. さて、今度は難しい。両手をあげて、左手は前へ、右手は後ろへとまわしてみましよう。できた？では、反対方向！
5. できてもできなくてもがんばりましたね。では、「できたポーズ」をどうぞ！お疲れ様でした。少しリラックスできましたか？毎日、深呼吸・笑・リラックス、そしてポガを最低3分間練習しましょうね。

一緒にいかが？



次回のポー会：2022年9月26日 Zoom会議 19:00～*

***リンクが毎回同じ。必要な方はメールでポーポキに聞いてくださいね

8月23日 ポーポキワークショップ@人形劇団クラルテ (Zoom)

9.1 韓日 未来志向・協力模索シンポジウム 「多文化共生と日韓関係」ポートピアホテル 本館 B1F (駐神戸大韓民国総領事館・神戸大学 GSICS 主催)

9.15 平和のワークショップ@びっくり箱

9.18 13:00-16:00 灘チャレンジ！

10.15 大阪 YWCA LGBTQ+・セクシュアリティについてのワークショップ@大阪 YMCA

10.22 平和と健康ワークショップ

ポーポキの友だちからのおすすめの本等

- ・『りょうくんのすずむみち 学校に行けない君たちへ』作・絵 かねしろ みゆき、学研 2019年。
- ・大槌町『生きる証 岩手県大槌町 東日本大震災記録誌』監修:大槌町教育委員会ほか。2019.7
- ・アレキサンダー ロニー & 桂木聡子 (2020) 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」『国際協力論集』27(2)、17 - 32 (2020年1月発行) http://www.lib.kobe-u.ac.jp/infolib/meta_pub/detail

アマゾンで買えるよ!

全編日英対照

神戸大学出版会

ポーポキの マスクギャラリー

～コロナ禍でアートを通して
日常の安心を探る～

編著・絵 ロニー・アレキサンダー

Written, edited and illustrated by Ronni Alexander



令和4年3月
発売!!

A5判・192ページ
定価 2,420円 (税別)

【本書の内容】

前書き

第一部：ことばの旅

「ことばの旅」への誘い

第二部：「お絵描き」の旅

- ① 物語を描くということ
- ② くちゃくちゃ
- ③ 色たち
- ④ いかなきや(桂木聡子)
- ⑤ 2021.1.17 に想う
- ⑥ 乱れ
- ⑦ プール

第三部：「ふりかえり」の旅

「ふりかえり」の旅

- ① ポーポキのマスクギャラリー — 基盤となる日本人の伝統的思考法を考える— (高田哲)
Popoki's Mask Gallery — A consideration based on traditional Japanese ways of thinking (Takada Satoshi)
- ② 対談：アナ・アガサングロウとロニー・アレキサンダー (世界国際関係学会年次研究大会2021年)
Conversation: Anna Agathangelou and Ronni Alexander (International Studies Association Annual Conference 2021)
- ③ ポーポキの旅: ポーポキのマスクギャラリーができるまでの道のり (ロニー・アレキサンダー)
Popoki's Journey: How Popoki's mask gallery came to be (Ronni Alexander)

後書き：新たな旅

今度はあなた

Prologue

Part I: A Word Journey

An Invitation to take a Word Journey

Part II: A Drawing Journey

The Meaning of Drawing Stories

All Messed Up

Colors

I've Gotta Go (Katsuragi Satoko)

Thoughts on 17 January 2021

Confusion

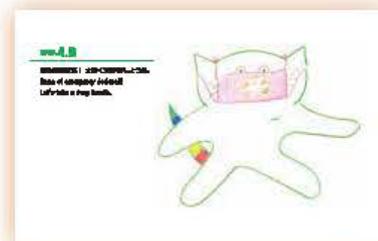
Pool

Part III: A Journey of Reflection

A Journey of Reflection

Epilogue: A New Journey

Now it is Your Turn



本文より抜粋



発行：神戸大学出版会 <https://www.org.kobe-u.ac.jp/kupress/>
神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学社会科学系図書館内 Tel. 078-803-7315 Fax. 078-361-7320

発売：神戸新聞総合出版センター
神戸市中央区東川崎町1丁目5-7 神戸情報文化ビル9F Tel. 078-362-7138 Fax. 078-361-7552

- ロニー、アレキサンダー、桂木、聡子、勅使河原、君江 「被災者の多様で個別的な安心についてお絵描きを通して思索する活動」 『神戸大学大学院人間発達環境学研究科研究紀要』15(2) 53-65 2022-03-30 JaLCDOI 10.24546/81013202
- アレキサンダー&桂木 「被災体験後「今」を表現する：絵から読み取れる被災ナラティブ」国際協力論集 27(2) 2020.2 pp.17-32. JaLCDOI 10.24546/81011967
- 「ポーポキのミニ平和映画祭」「こくしのみど52」『神戸青年・Kobe YMCA News』No.652 2017.7-8
- ESD Digital Archives, Kansai Council of Organizations for International Exchange <http://www.interpeople.or.jp>
- 関西国際交流団体協議会の「デジタルアーカイブ(WEB版の事例集)にポーポキ! <http://www.interpeople.or.jp>
- 「平和を考える絵本出版 被災者支援きっかけに」『神戸新聞』(貝原加奈 2014.4.25 28面)
- 「ボランティア37団体に助成 大和証券福祉財団」『神戸新聞』(2013.8.23 朝刊 地域経済 8面)
- 「原爆の熱線で焼き付いたー "人影"再現、非核誓う」『神戸新聞』(2013.8.7 朝刊 22面)
- 「被災 秘めた思い描いて」「ひと人抄」『読売新聞』(2013.2.16 夕刊 4面)
- 広岩近広 「安全」「安心」の社会は足元から、ロニー・アレキサンダーインタビュー 『毎日新聞』2012.10.29 (「今、平和を語る」、夕刊、1面)
- R. Alexander. "Remembering Hiroshima: Bio-Politics, Popoki and Sensual Expressions of War." *International Feminist Journal of Politics*. Vol.14:2:202-222, June 2012
- 「ポーポキと一緒に作り出す平和の根底に9条がある」NO:66 2012年5月12日[子どもと守る9条の会]
- 「布に希望 60メートル」阿久沢悦子 『朝日新聞』2012.1.21 (兵庫・29面)
- 「平和祈る声まとめ本に」斎藤雅志 『神戸新聞』2012.1.19 (伝える1・17 3・11、22面)
- K. Wada. "Conversations with Ronni Alexander: The Popoki Peace Project; Popoki, What Color is Peae? Popoki, What Color is Friendship?" *International Feminist Journal of Politics* Vol.13, No.2, 2011, 257-263
- S. McLaren. "The Art of Healing" (Popoki Friendship Story Project) *Kansai Scene*. Issue 133, June 2011, p.10. kansaiscene.com
- R. Alexander. (2010) "The Popoki Peace Project: Creating New Spaces for Peace in Demenchonok, E., ed. *Philosophy after Hiroshima*. Cambridge Scholars Publishing, pp.399-418
- 「省窓」『神戸青年』No.606 2011.1.2 p.1
- No.1 「『ポーポキ、平和って、なに色?』の背後にあるもの」(連載)とさぼりライフ第19号 2010.10:4
- 堀越健志「シリーズ:こくさいのまで (パレスチナについて)『神戸青年』No.604 2010.9-10
- 「みんなでやれば、何にかが変わる!」THE YMCA No.607 June 2010, p.1
- [ヒロシマと世界: 被爆地の声 非核と平和、復興と再生、許しと命の尊厳訴え] http://www.hiroshimapeacemedia.jp/mediacenter/article.php?story=20100312140608602_ja
- 2010.3.15 中国新聞 ヒロシマ平和メディアセンター
- FM COCOLO 76.5 'Heart Lines' 2010.1.9 Interview: Ronni on Popoki in Palestine
- "Human Rights, Popoki and Bare Life." *In Factis Pax Journal of Peace Education and Social Justice* Vol.3, No.1, 2009, pp.46-63 (<http://www.infactispax.org/journal/>)
- 西出郁代 「ポーポキ、平和って、なに色?ロニー・アレキサンダーを迎えて」『PSEAWA』(日本汎太平洋東南アジア婦人協会) No.63 2009.12, p.5.
- 「友情」第2号 2009.11 伊丹市国際・平和交流協会 年間事業報告 pp.1-2
- 「ともに…」 No.29 2010.1 家庭と保育所、学校園、地域を結ぶ在日外国人教育情報誌 ポーポキ・ピース・チャレンジ情報 p.12
- 区民情報誌「なだ」2009.12, p.2. ポーポキ・ピース・チャレンジ情報。
- 「『ポーポキ、友情って、なに色?』」「私のいち押し」奥田光子 THE GAIDAI 2009.7.17 No.243 (関西外大通 信)
- 「友情って…考える絵本」朝日新聞「生活」(阿久沢悦子) 2009.7.2
- 「友情を考えて人間と、ねこと、そして自分と〜」れ組通信 RST/ALN 2009.6.28 No.259, p.11
- 「カティング・エッジ」第35号 2009.6 (北九州市立男女共同参画センター「ムーブ」)「新刊紹介:『ポーポキ、友情って、なに色?ポーポキのピース・ブック2』(レベッカ・ジェニスン) p.3
- 「猫を通して平和を考える 絵本の第2弾を出版」(斎藤雅志) 神戸新聞 2009.4.21
- 「ポーポキ、平和ってなに色?」KOBE YMCA NEWS 『神戸青年』2009.3.1 No.593 p.2
- 「ポーポキ、ゴミってなに色?」KOBE YMCA NEWS 『神戸青年』2009.1.1 No.592 p.2
- 「友だちになってくれませんか?」RST/ALN 2009.2.22
- ラジオ番組の中のポーポキ!!! プロジェクトメンバーの宇留賀佳代子さんがラジオ番組で紹介してくださいました。ぜひお聞きくださいね。 <http://www.kizzna.fm/> 録音番組。(リンクは現在無効)
- やさしいから人なんです展パート20 実行委員会 『世界人権宣言』ひょうご部落解放・人権研究所 2008.10 500円。詳しくは: blrhyg@osk33web.ne.jp
- 「KFAW カレッジ ロニー・アレキサンダー氏 講演会」エイジアン・ブリーズ/Asian Breeze No.54 October 2008, p.8 (アジア女性交流・研究フォーラム)



私にとってポーポキ

りゅうニャン

こんにちは！りゅうニャンです

You are good at Japanese.

ポーポキの生みの親ロニー先生に初めてお会いしたのは十数年前……。現在の勤め先の店で接客をしているときで、その頃の私は30代前半でまだ勤務してから1~2年。今までとは職種の違う仕事をしていたので新鮮で楽しく働いていた中、何かをさがしている怪しい外国人を発見！それがロニー先生でした（怪しいは嘘ですけどね）。それから、お店に来るたびに色々とお話しをしていただきとてもシャイで純粋な方だなと感じています

出会いから1~2年経った頃にロニー先生から驚きの報告があり、それがポーポキ出版のことでした。私はこの報告を聞きすぐに欲しいと感じました。その頃長女が小学生になったばかりでしたので、ロニー先生が書いた絵本を読ませてあげたいと思ったのです。ほどなくして出来たばかりの絵本「ポーポキ、平和って、何色？」を届けていただきました。

平和について今までの人生で真剣に考える機会はありませんでしたが、この度ロニー先生から「わたしにとってポーポキ」のお話をいただき考えてみました。

平和・・・世界中の人類が手にした武器を捨て、何事にも対話で解決ができる世の中ではないでしょうか？

平和・・・人種、性別に関係なく他人を思いやる心ではないでしょうか？

平和・・・世界の人が平和について真剣に想い考え助け合うことではないでしょうか？

考え出すときりがありません。ただ難しいことだとわかりました。



わが家のポーポキ「ちゅらちゃん」です

そしてわたしにとってのポーポキは出会いですかねえ

最初にお会いしたときに「日本語が上手ですね」と

私が言ったのですがロニー先生は覚えていないでしょうか？

今思えばなんて失礼なことを言ったのかと反省しております。



ポーポキ・ピース・プロジェクトは、『ポーポキ、平和って、なに色？ポーポキのピース・ブック1』（エピック、2007年）、『ポーポキ、友情って、なに色？ポーポキのピース・ブック2』（エピック、2009年）、『ポーポキ、元気って、なに色？ポーポキのピース・ブック3』を題材に、全身で平和の意味を探り、一人ひとりの「発見」を平和の創造に役立てようとする小さな平和活動団体です。また、2011年に起こった東日本大震災をきっかけに活動をしており、『ポーポキ友情物語 東日本大震災で生まれた私たちの平和の旅』という本を2012年1月に発行しました。2006年に設立されて以来、日本国内外で幅広く平和のためのワークショップなどの開催を続けてきました。活動の資金はすべて本の売上や寄付によって行っています。

これからも平和を考えるためのピース・ワークショップ、読み聞かせ、ピースキャンプ参加、ポーポキのピース・ブックの翻訳（『ピース・ブック1』は既に10ヵ国語に翻訳されている）、『ポーポキのピース・ブック3』の執筆などの活動を中心に活動を続ける予定です。定期例会「ポー会」を月に一度のペースで開催しています。一緒に活動なされたい方はぜひご参加ください。（ポー会の開催については、ポーポキ通信の「一緒にどうぞ」の欄をご参照されたい。）

また、こういった活動に対してのご協力、ご支援をぜひお願いしたいと存じます。本の購入・寄付・本についてのコメント、感想、注文などについては、popokipeace@gmail.comへ お問い合わせください。

なお、本についての問い合わせや注文は、お近くの書店、アマゾン、あるいはエピック（TEL: 078-241-7561・FAX: 078-241-1918）へどうぞ。

ポーポキ・ピース・プロジェクト [popokipeace\(at\)gmail.com](mailto:popokipeace(at)gmail.com)



<http://popoki.cruisejapan.com>

郵便振替口座番号 00920 - 4 - 280350

ゆうちょ銀行 店番099 店名099店 当座 口座番号0280350

口座名 ポーポキ・ピース・プロジェクト神戸

ポーポキ平和募金は一口1500円 何口でも結構です。



THANK YOU FROM POPOKI!